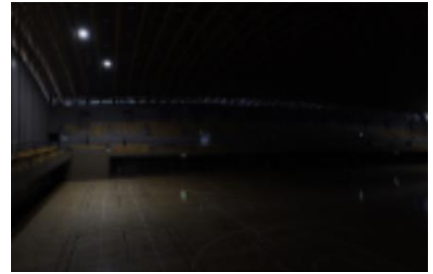


2020 年 4 月 7 日

施設照明の多様なニーズに対応 避難所照明としても対応できる高天井照明 「HX-R シリーズ 調光調色タイプ」 発売



アイリスオーヤマ株式会社（本社：仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、避難所照明としても対応できる高天井照明「HX-R シリーズ 調光調色タイプ」を 2020 年 5 月より発売します。

近年、地震や異常気象を含む自然災害は増加傾向にあり、体育館や競技場施設は地域の避難所としての役割を担う重要な施設になっています。これまでの体育館等の照明は、競技用に対応しているため、眩しすぎる、光が青白い、という避難所として使用する場合の課題がありました。

こうした課題に対応するため、今回発売する「HX-R シリーズ 調光調色タイプ」は従来製品の調光機能に加え、新たに調色機能を追加しています。設置施設を避難所として使用する際には、明るさだけでなく色温度を変えられるため、一時的な生活環境を求める避難者にも安心して快適な生活環境を提供できます。

当社は今後も幅広い使用環境に対応した商品開発を行うことにより、LED 照明の普及を拡大し、省エネルギー社会の実現に貢献していきます。

■避難所向け高天井照明「HX-R シリーズ 調光調色タイプ」商品特長

1. 平常時と非常時等、用途に合わせた使い分けが可能
2. 日本照明工業会認定の耐震設計
3. 無線制御システム対応で省エネのサポートと熱中症の危険度をお知らせ

1. 平常時と非常時等、用途に合わせた使い分けが可能

平常時は、通常の施設用照明として使用できます。調光対応により、様々な競技、使用用途や場所を限定した使用に合わせた明るさの調節ができます。非常時には、避難所用として、生活リズムに合わせて細かな調光調色ができます。夜間は人が歩くルートのみを点灯、明かりも暖色にすることで、最低限の明るさを確保しながら避難者の睡眠を妨げない快適な生活環境を作ります。



NEWS RELEASE

2. 日本照明工業会認定の耐震設計

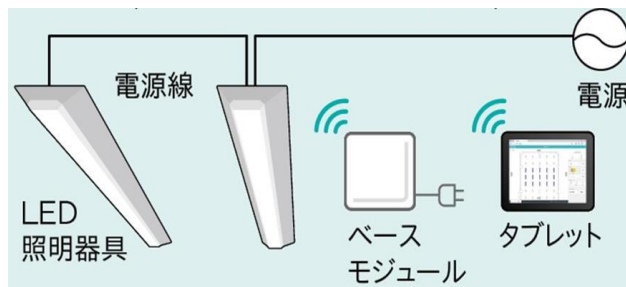
日本照明工業会が定めたガイドライン※1において、「災害応急対策活動に必要な施設」、「避難所として位置づけられた施設」、「人命及び物品の安全性確保が国に必要な施設」は特定の施設として位置づけられています。その施設に取り付け可能な「耐震クラス S2」をクリアしています。

(一般照明器具以外) (重要照明器具)	一般の施設	特定の施設	
		右記以外	特定天井に設置
	耐震クラスB 設計水平震度：1.0 設計鉛直震度：0.5 落下回避	耐震クラスA 設計水平震度：1.5 設計鉛直震度：0.75 限定された機能維持	耐震クラスS2 設計水平震度：2.2 設計鉛直震度：1.1 限定された機能維持

日本照明工業会耐震ガイドラインより抜粋

3. 無線制御システム対応で省エネのサポートと熱中症の危険度をお知らせ

当社独自の無線制御システム「LiCONEX（ライコネックス）3.0」対応のため、配線工事不要でタブレット端末による制御ができます。さらに、タブレット端末で操作ができるため、場所を問わず使用用途や使用場所に依りて、明るさや色温度を調節でき、省エネをサポートします。さらに、近年、夏の熱中症の発症が増えており、体育館や避難所でも安全性を確保する必要があり、熱中症対策として暑さ指数（WBGT）※2の確認が不可欠です。無線制御システムにより、専用の温湿度センサー（別売）を設置することで、施設内の暑さ指数（WBGT）をタブレット端末にお知らせし、危険度管理を提供します。



気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給) 通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
(公財)日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

■製品仕様

品名	HX-R 調光・調色タイプ
品番	HXR200-300DL-W-B-LI/C
光色(K)	昼光色～電球色 (6500～2700)
器具光束(lm)	30000
固有エネルギー消費効率 (lm/W)	180.7
定格消費電力 (W)	166.0
製品サイズ(mm)	W278×D433×H251
質量(kg)	5.2
参考価格(税抜き)	186,000

※1：建築物に取り付けられる照明器具を対象とし、地震発生時における照明器具の本体及びその部品の折損、脱落、破損、落下防止等による人身災害事故発生を低減することを目的として、照明器具の設計指針、及び施工者に対する要請事項を定めたガイドラインです。

※2：Wet Bulb Globe Temperature は、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。
暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい
①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。